

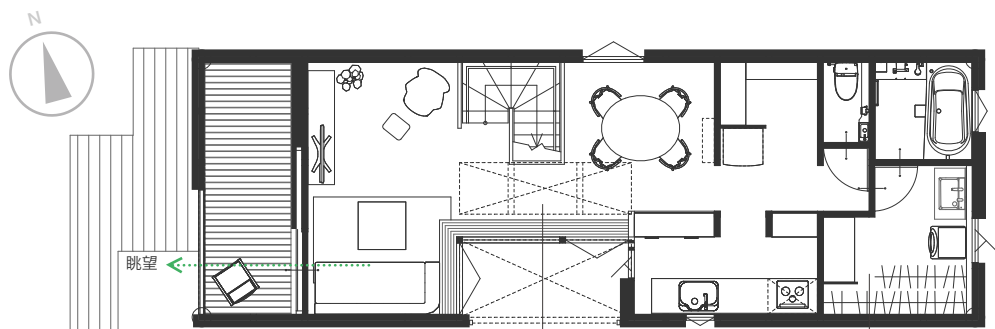
DATA

所在地: 秋田市
工期期間: 2018年11月~2019年5月
構造: 木造2階建
延床面積: 住宅106.24㎡ (32.14坪)

商人町として面影を残している通り沿い。いわゆる「うなぎの寝床」な敷地に建つ。全面道路から後退させた長いアプローチは植栽で玄関や中庭につながるように配置。吹き抜けた中庭を中心にプランを展開し、居間や台所に至るまで外部と連続的につながっている。越屋根の窓は夏の排熱や夜間蓄冷に効果を発揮し、植栽を建物ギリギリまで近い位置に植えることで、木の癒しと気化熱による涼しさを得る。



ダイニングからリビングを見る。
細長い建物は奥に奥に視線を伸ばす事が大切。階段手摺を低くしてリビングとダイニングをゆるやかに仕切る



[平面図 2F]

越屋根部分は通風と夏の排熱を促す

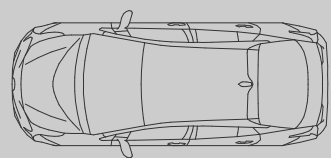
物干しスペース。室内が暖かいので冬でも乾きが良い



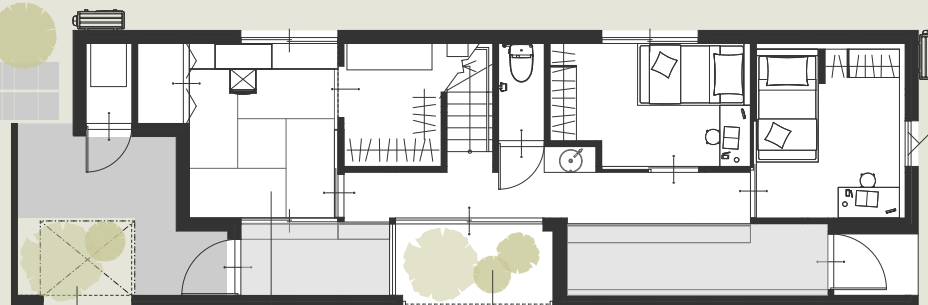
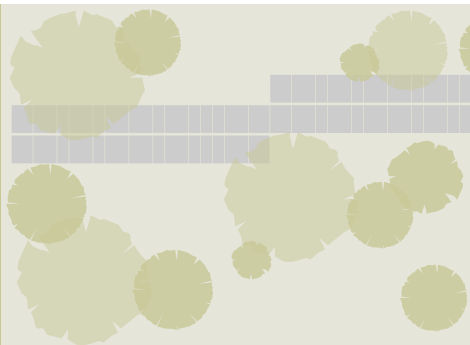
北西側外観。越屋根と西日よけのバルコニーがファサードの骨格をつくる



こもり感のあるキッチン。パネルヒーターはタオル掛けにも。



[配置平面図 1F] 6m×40mの細長い敷地。道路からセットバックして緑のアーチをくぐるアプローチ



客間と寝室を兼ねるフレキシブルな空間

2Fバルコニー越しにポーチの植栽が見える

2階リビングの場合、玄関を含め閉鎖的になるので中庭で広がりをもたせる。この中庭は吹き抜いて隣家の合間から採光と通風を確保し、窓の防火ラインをかわす役割もある

[断面図]

MOLX もるくす建築社
<http://molx.co.jp/>

